

フセハツ工業株式会社

2017年度環境活動レポート

(対象期間： 2017 年4月21日 ~ 2018 年4月20日)



作成日： 2018年4月21日
更新日： 2018年5月10日

企業理念
弾む原理を進化させ 小さくても大きな使命と 責任感を持って社会に貢献すべし

社訓
物を大切にし 冗費を慎み 理想的な企業及び家庭の建設に努めること

環境方針

フセハツ工業株式会社は、事業活動を通じて、地球温暖化の緩和に向けた様々な環境活動に
全員参加で自主的・積極的に取り組み社会に貢献します。
また、環境改善活動を通じて、理想的な企業及び地域社会の建設に努めます。

1. 環境関連法規等の遵守を徹底します。
2. 有害な化学物質使用の適正管理に努めます。
3. 材料ロス・不適合を削減し、物を大切に使用し、再利用できるものは工夫して使用し、廃棄物の削減に努めます。
4. 作業の継続的改善により、ムダな作業時間を減らし、ムダな生産やムダな動きを無くし、エネルギー(電気・ガス・ガソリン等)の効率を上げ、二酸化炭素削減に努めます。
5. 節水活動や冷却水の循環利用により水使用量の削減に努めます。
6. 設備・機器・車両・事務用品等は、省エネで環境に考慮したものを購入します。また、必要以上には買いません。
7. 5S活動を通じて環境整備を推し進め、環境に配慮した製造工程・サービスの実現に努めます。
8. 環境レポートを社内外に公開し、継続的に環境活動を改善します。

制定日：2016年10月1日

改定日：2016年11月25日

代表取締役 吾村篤

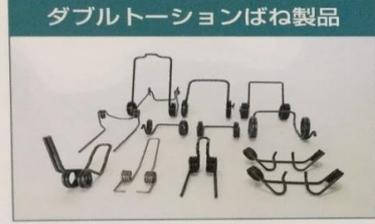
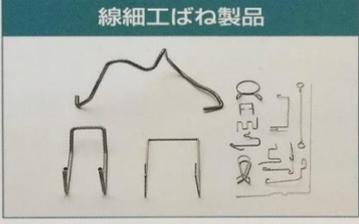


□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 フセハツ工業株式会社
 代表取締役 吉村 篤
- (2) 所在地
 本 社 大阪府東大阪市西堤本通西1丁目3-43
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 経営企画局 吉村 啓司 TEL：06-6789-5531
 担当者 経理・総務 松田 美津子 TEL：06-6789-5531
 担当者 第二製造部 渡辺 真由 TEL：06-6789-5531
- (4) 事業内容
 金属精密加工製品(ばね、ばね関係製品)の設計・開発及び製造

主要製品

ばね製品の使用例ラインナップ 1個の試作から多品種少量生産にも対応します。

<p>圧縮コイルばね製品</p> 	<p>引張ばね製品</p> 	<p>ねじりコイルばね製品</p> 
<p>ダブルトーションばね製品</p> 	<p>線細工ばね製品</p> 	<p>薄板ばね製品</p> 
<p>リングばね製品</p> 	<p style="text-align: center;">ばねの通販 規格ばね（標準ばね）お急ぎなら・・・</p> <p>フセハツ工業では、オーダーメイドによるバネ製品の受託製造のほか、汎用性が高く使用頻度の多いバネについて、リーズナブルな通販の規格商品もご用意しております。即日～3日以内に発送いたします。また、本社にて店頭販売も行っております。実用標準ばねのシリーズと1mのバネのシリーズがあります。5,000円以上お買い上げの場合は、全国どこでも送料無料です。</p> 	

- (5) 事業の規模
 製品出荷額 4.1 億円

		本社	合計
従業員	人	48	48
延べ床面積	m ²	1854.59	1854.59

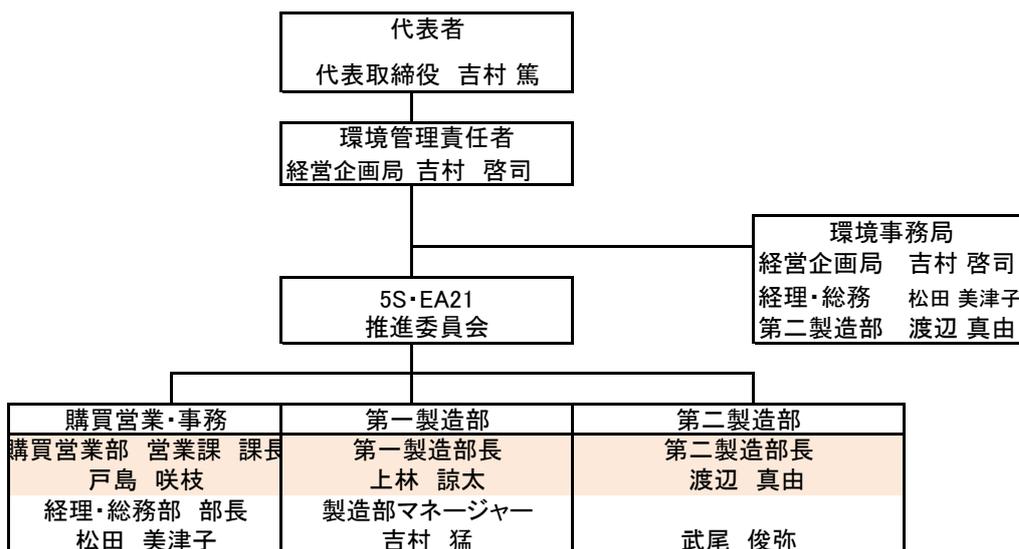
- (6) 事業年度 2017年 4月21日～2018年4月20日

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録事業者名： フセハツ工業株式会社
- 対象事業所： 本社
- 対象外： なし
- 活動： 金属精密加工製品（ばね、ばね関係製品）の設計・開発及び製造

□実施体制図及び役割・責任・権限表

更新日： 2017年10月21日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
5S・EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	187,819	201,678
廃棄物排出量	kg	18,354	20,086
一般廃棄物排出量	kg	4,403	2,245
産業廃棄物排出量	kg	13,951	17,841
総排水量	m ³	710	738

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.531 kg-CO₂/kWh

※産業廃棄物には金属くずの売却分も含む

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準度)	2017年		2018年 (目標)	2019年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	159,101	155,919	179,473	152,737	151,146
	基準年比	2016年	98%	113%	96%	95%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,025	1,005	944	984	974
	基準年比	2016年	98%	92%	96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	19,064	18,682	14,108	18,492	18,301
	基準年比	2016年	98%	74%	97%	96%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	179,190	175,606	194,526	172,213	170,421
一般廃棄物の削減	kg	4,403	4,183	2,245	3,523	3,082
	基準年比	2016年	95%	51%	80%	70%
混合廃棄物の削減	kg	2,011	1,810	2,346	1,609	1,408
	基準年比	2016年	90%	117%	80%	70%
水道水の削減	m ³	710	703	738	703	696
	基準年比	2016年	99%	104%	99%	98%
化学物質管理			活動目標のみ			
グリーン購入の推進			活動目標のみ			
材料ロス率低減			品質管理資料参照			

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	電力プランを変更し年間18万前後の電気料金を削減に変更したが、新規機械の導入により電気消費量が昨年度より上がった。電気消費量の高い電気炉の電源開始時間を制限したが、大きな効果は得られなかった。来期は電力削減のための機械稼働制限など視野を入れ、新電力会社への移行も考えた取り組みを検討する。
使用頻度が低いロッカー・トイレ等の照明は普段消灯、使用時点灯する。	○	
夜間・休日のPC/プリンタの電源を切る	○	
空調機の定期的なフィルター清掃	○	
プリンタ・FAX複合機の省電力設定	○	
都市ガスによる二酸化炭素削減		
数値目標	○	1, 2月にガス使用量が増えた原因として食堂利用者が増えたことによりガス（お茶を沸かす・湯を使うなど）の使用が増えたが、気候の変化もありお湯を沸かす機会が4月度は減り使用量が減ったことにより昨年度より抑えられた。来期は今期を基準として削減に向けて考える。
・温水の温度を下げる。	○	
・人がいない場所はガスストーブは消灯する。	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	今期は途中で自動車が1台減り、減少につながったこともあるが、それ以前についても減少している。最適なルート営業などの戦略が削減に大きく貢献した。来期もこの調子で削減に努める。
・タイヤの空気圧の確認	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	運用開始時期と比べて減少している。昨年は不要な物の廃棄を行っていたので重量が大きくなっているため、判別は難しい。よって、今期のデータを基準として、来期の活動目標を決めることにする。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
5S活動の推進	○	
混合廃棄物の削減		
数値	×	運用開始時期と比べて減少している。昨年は不要な物の廃棄を行っていたので重量が大きくなっているため、判別は難しい。よって、今期のデータを基準として、来期の活動目標を決めることにする。
・作業ミスによる廃棄量の削減	×	
5S活動の推進	○	
水道		
数値目標	×	前半期は真空炉のフル稼働により使用量が上がったが、水冷循環器の設置により、水道使用量が削減されたが水を多く使用する機械であるため、巻き返しには至らなかった。来期は2016年度の基準年を目標にし、節水に励む。
・節水シールの貼り付けとポスター掲	○	
・節水コマ取り付け	○	
化学物質管理		
数値目標	—	今期は化学物質の購入はなく、管理も適切であった。来期も同様に管理を行う。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・盗難漏洩蒸発防止	○	
グリーン購入の推進		
数値目標	—	今期から事務用品の購入を部署ごとで申請式に変更し、所属長が必要か否かの確認を行い事務用品を購入を決定し削減に努めた。来期も同様に行うこととする。
・事務用品グリーン購入努力	○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
材料ロス率低減		
数値目標	—	今期は新入社員が増えたこともあり、技術不足によりロスが増加した。また、各製造部長の休職と離職があり、技術面での指導が上手くいかなかった事も増加につながっている。
第1製造部 ロス率2.55%以下	×	
第2製造部 ロス率2.92%以下	×	
ボカミスをなくすこと	×	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音・振動規制法	空圧機、送風機、工作機
消防法（危険物）	シンナーの保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、スポットクーラー
顧客要求事項	化学物質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等はこれまでありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災	
■実施日： 2017年10月2日	■実施場所： 事務所・工場
■参加者： 各部署選任者	■実施内容： 避難場所、消火器の配置の確認
<p>■評価： 避難経路・非常出口・消火器の配置の確認を各部署専任者と話し合い確認を行った。 後日、各部署長が部下に指導と説明を行い避難訓練を実施。</p> <p>手順書の改定の必要性：□あり <input checked="" type="checkbox"/>なし</p>	
<p>■実施状況の様子</p> <p>各部署長を集め 避難・消火器の確認</p> <p>指導・訓練実施日 購買営業課 10月10日 第1製造部 10月13日 第2製造部 10月12日</p>	

□代表者による全体の評価と見直し

実施日： 2018年4月9日

【前回の指示への取組結果】	
2016年度を基準に活動を行ってきたが、大きく前進した取り組みもあれば後退した取り組みもあった。機械の増設に絡んだ使用量増加項目もあり、1年間を通して環境活動の難しさも知った1年でもあった。	
<情 報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等） 機械設備の増加による電力消費・水道使用量の増加が大きな変化であった。	◇環境方針 2018年度も5S活動に力を入れ、整理整頓、ムダを省き、電気ON/OFFなどの節電対策を強化していく。 また、製造技術者の向上を目指し材料ロス低減を図る。
◇環境目標・活動計画の達成状況 目標に対し自動車燃料の消費量が前年度より大幅に削減されたが、電気使用量は大幅に増えており全体的な活動としてムラのある結果となった。	◇環境目標・活動計画 2018年度は2017年度を基準とし目標を基準2%減を目指す。水道水に至っては目標は2016年の実績値とする。
◇その他 廃棄物関連の計測がEA21活動を始めた 2016年後半からなので参考値となり目標・達成率がないに等しい。	◇その他 2017年度は全てのデータが整っているのに、目標に対する達成度、是正点をしっかり行うようにする。
【今回の評価結果と今後の経営視点】	
2016年度後半より、活動をスタートさせた事もあり、2016年度前半期の正確なデータも一部しかそろっていない状態で基準としているため、正確な目標値が難しい年だった。2018年度は2017年度のデータを基準（一部除く）にするので、2018年度は正確なデータ・状況を把握できるようになる。2017年度を比較し、良い所・悪い所を見定め、是正し活動を進めていく。	

□環境活動の紹介

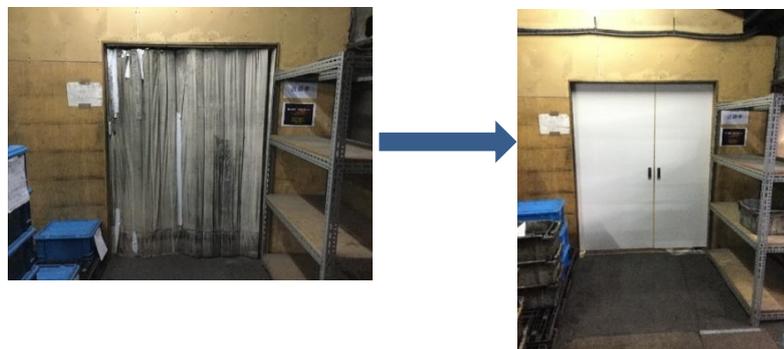
環境活動の一環として毎週金曜日に5S活動を行い、整理整頓箇所を指摘し整頓を行っている。
重複した備品を整理しムダな購入を避け、不使用の資料の廃棄・裏面使用などを行っている。



薄暗く壁がはがれていた工場壁を補修・塗装し明るい雰囲気



ボロボロで粉塵が流れ出ていたカーテンを廃棄しリフォーム(粉塵対策)



凸凹になった工場入り口の床を、左官・塗装を行った。



部品など散らばった工場を整理し床も塗装しリフォーム

